

パブリックコメント意見及び回答

<p>該当箇所</p>	<p>地震応急-48 第2節 指定避難所の開設・運営等 第2 指定避難所の管理・運営 (3) 指定避難所の管理、運営支援 2. 指定避難所の管理・運営の留意点</p>
<p>意見内容</p>	<p>トイレを男女別に分け距離を置くとの意見には、非常に賛成です。しかしながら、被害に遭うのは女兒だけではありません。男児も被害に合うことがあります。微妙な年齢の男児は女子トイレに連れて行くこともできません。トイレがどのような状態で設置されるのかわかりませんが、もし人目につかない空間が生まれるのであれば、見回りや人員配置があると安心です。父親が遠方にいるため、入浴などの際にも何か起こるかもしれないと不安になります。</p> <p>○常に人目に晒され、周囲を意識しなくてはならない状態はストレスになるため、避難所向けのパーテーションなどプライバシーが確保されるものを用意してほしいです。また、子育て世帯と高齢世帯、単身世帯は別々の部屋にするなどしてもらえると、子供の声が他の方の迷惑になるのではと心配しなくて良くなり、精神的な負担が減ります。子供たちが体をのびのび動かせる、友達と過ごせる場所も欲しいです。普段と違う状況だからこそ、少しでもストレスを軽減できる環境を整えてほしいです。</p> <p>○災害関連死に取り組む団体によれば、トイレ・キッチン・ベッドを48時間以内に整備することが関連死を減らす重要なポイントだと言われています。熊本地震の初期もその3つが特に困ったとのことなので、備えておいて欲しいです。</p> <p>また、イタリアでは災害に備えキッチンカーを自治体が有しているとのこと、災害当日から避難所で調理したての食事が振る舞われたとありました。予算の関係などもあると思いますが、長期にわたる避難所生活では食事の内容も非常に重要になると思います。現在、能登半島地震の被災地ではノロウイルスの感染者が増えているとあり、免疫力の低下が命取りです。少しでも栄養のある温かい食事がとれる環境を整えておいてほしいです。</p> <p>イタリアでは他にも簡易ベッドと冷暖房器が設置された大型テントが家庭ごとに用意されるとの記事もあり、避難所生活者にさまざまな配慮があることがわかります。予算の関係もあると思いますが、交野市が先進的な避難所を用意していることで全国的に有名になって欲しいと思います。</p>

	<p>また、交野市が用意する仮設トイレがどのようなスタイルかわかりませんが、和式ではなく洋式のものをお願いしたいです。子供たちの中には使えない子もいるほか、高齢になると和式はしんどくなり、トイレの不衛生や体調の悪化にもつながります。</p> <p>最後になりますが、日本では「自助」の考えが強く被災者が避難所を運営しますが、欧米では被災自治体の職員も保護されるべき被災者と見なされ、避難所運営は周辺自治体の職員が中心となるそうです。交野市が被災した場合にも、周辺自治体の助けを得られるよう、また逆の場合には助けられるよう、常日頃から周辺地域との連携が求められると思います。</p>
--	--

<p>意見に対する市の対応</p>	<p>避難所における対策についてご意見をいただきありがとうございます。特に避難所での防犯対策や、災害関連死防止のために、今後積極的に推進していくべき内容も記載いただいております。市としても検討して参りたいと考えています。</p> <p>ただし、非常に具体的な内容となることや、既に市でも導入している内容もあるため、市の地域防災計画に直接反映・記載するのではなく、避難所運営マニュアル等に反映し、より一層の災害対策を進めていきたいと考えています。</p>
-------------------	--